

# 車体業界の市場動向

---

## 1. 車体工業会の現状

1-1 国内商用車販売状況

1-2 会員生産台数

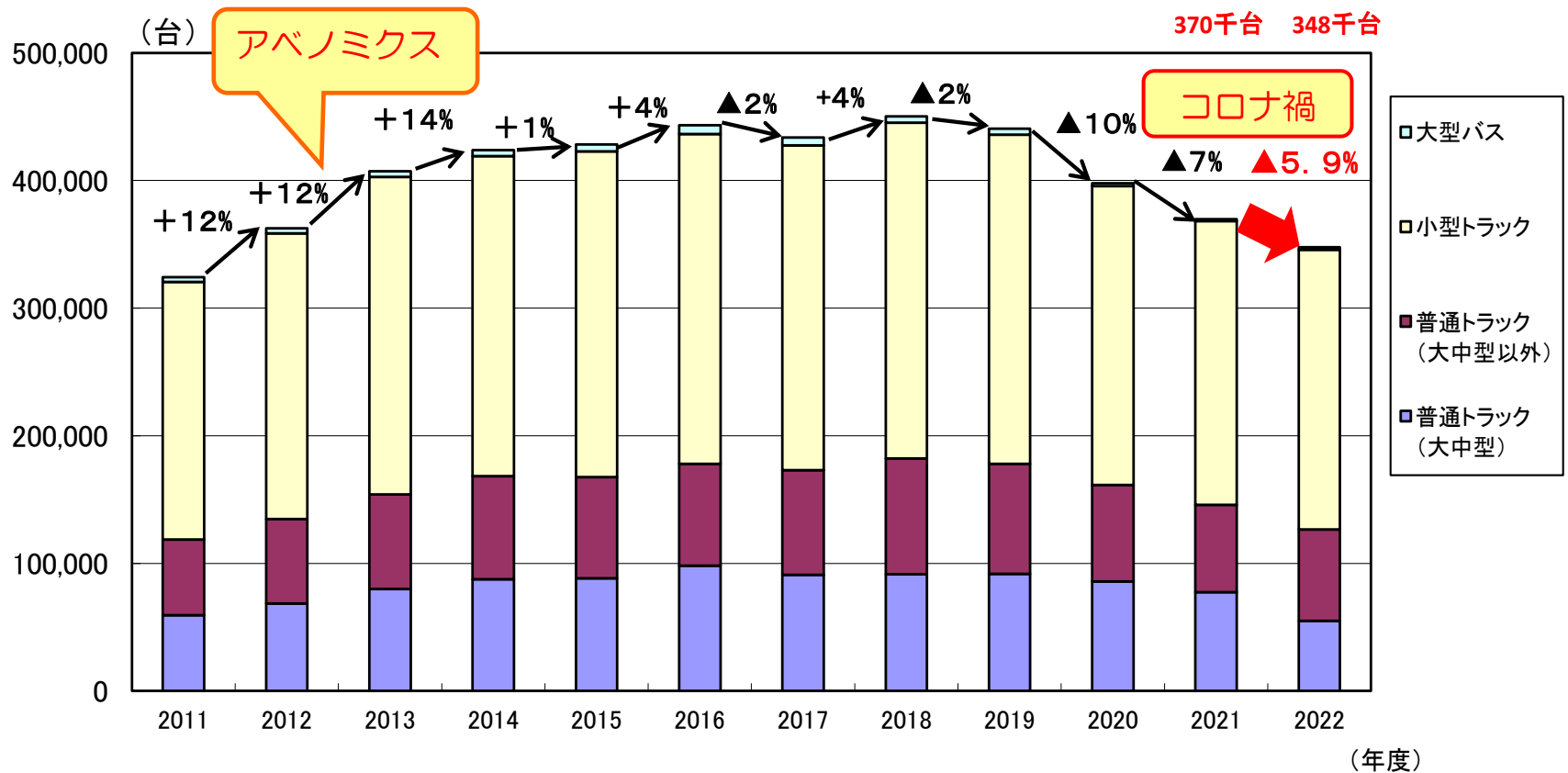
## 2. 取り巻く環境変化

- GDP成長率
- 貨物車保有台数
- 普通貨物平均使用年数
- 貨物輸送量
- 輸送分担率
- 生産/保有台数見通し

# 1. 取巻く環境

## 1-1 国内商用車販売台数推移

### 2022年度実績（貨物車＋大型バス）



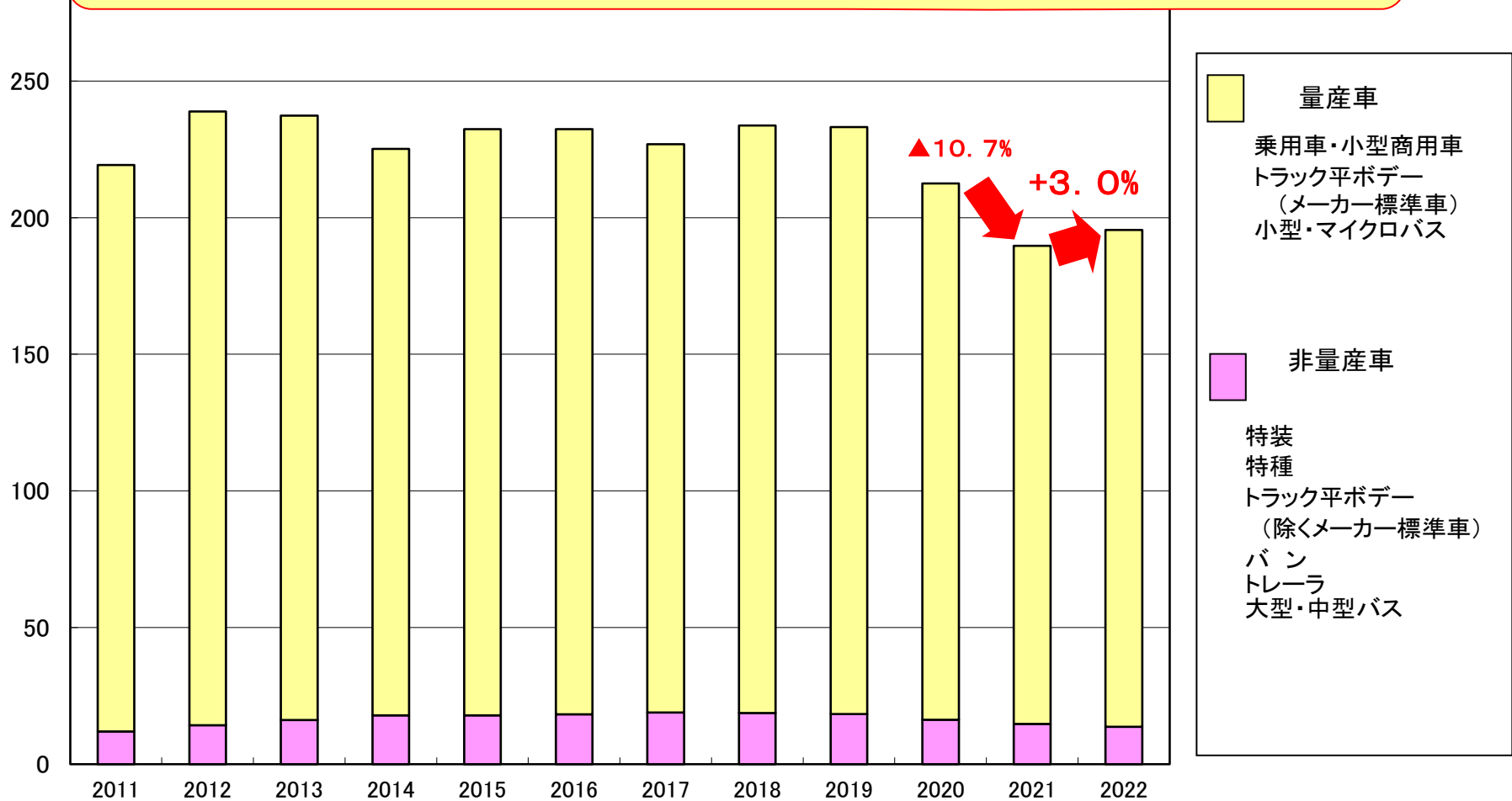
# 1. 取巻く環境

## 1-2 会員生産台数推移

### ① 全体

(万台)

量産車が増加、非量産車が減少し、2022年度は195万台  
前年度比+3.0%と4年ぶりの増加



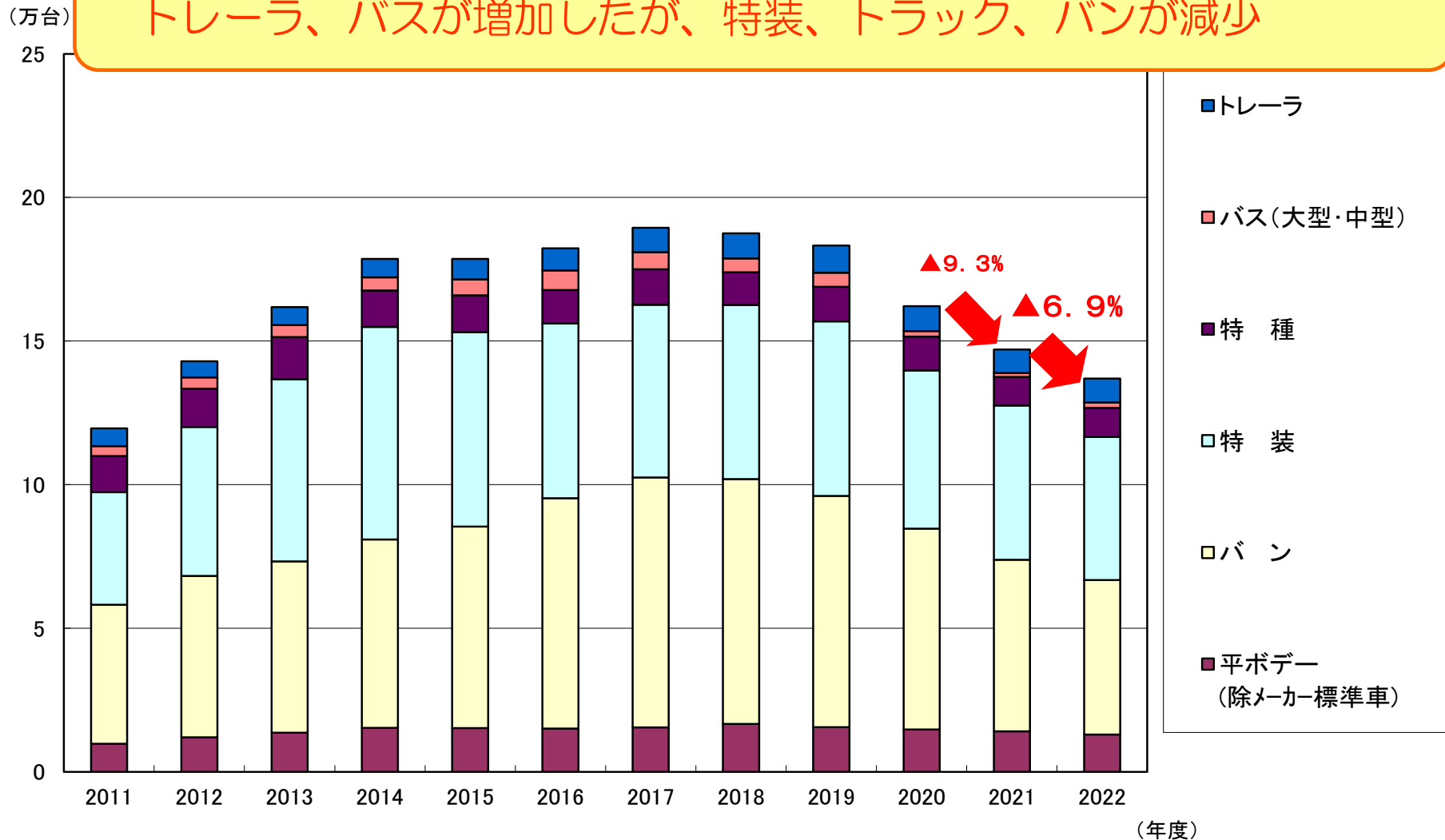
(年度)

# 1. 取巻く環境

## 1-2 会員生産台数推移

## ② 非量産車

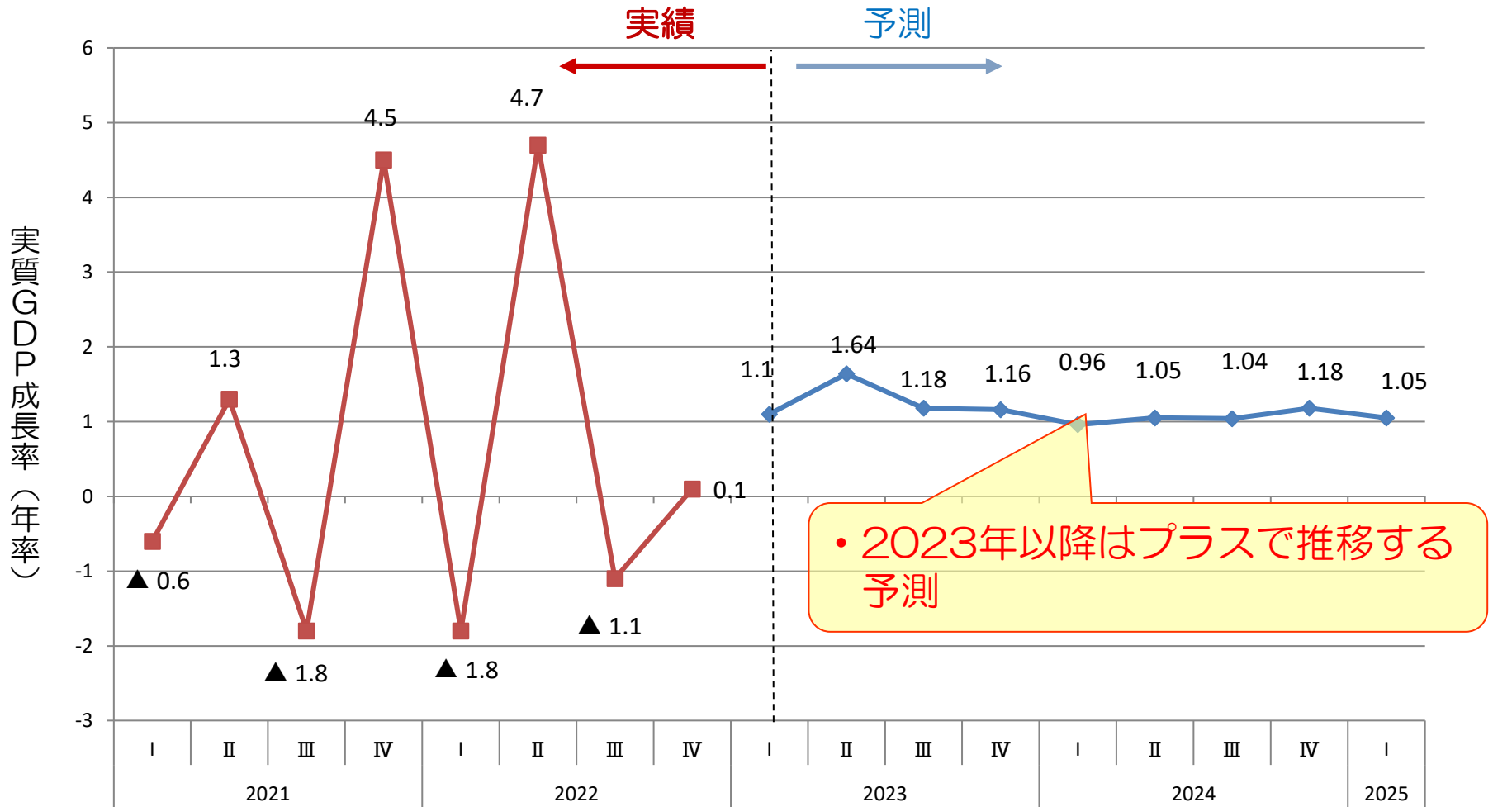
- 2022年度は、前年度比▲6.9%と5年連続の減少、特種、トレーラ、バスが増加したが、特装、トラック、バンが減少



# 1. 取巻く環境変化

## 1-2 市場動向

### ① GDP成長率



出所：①実績：内閣府

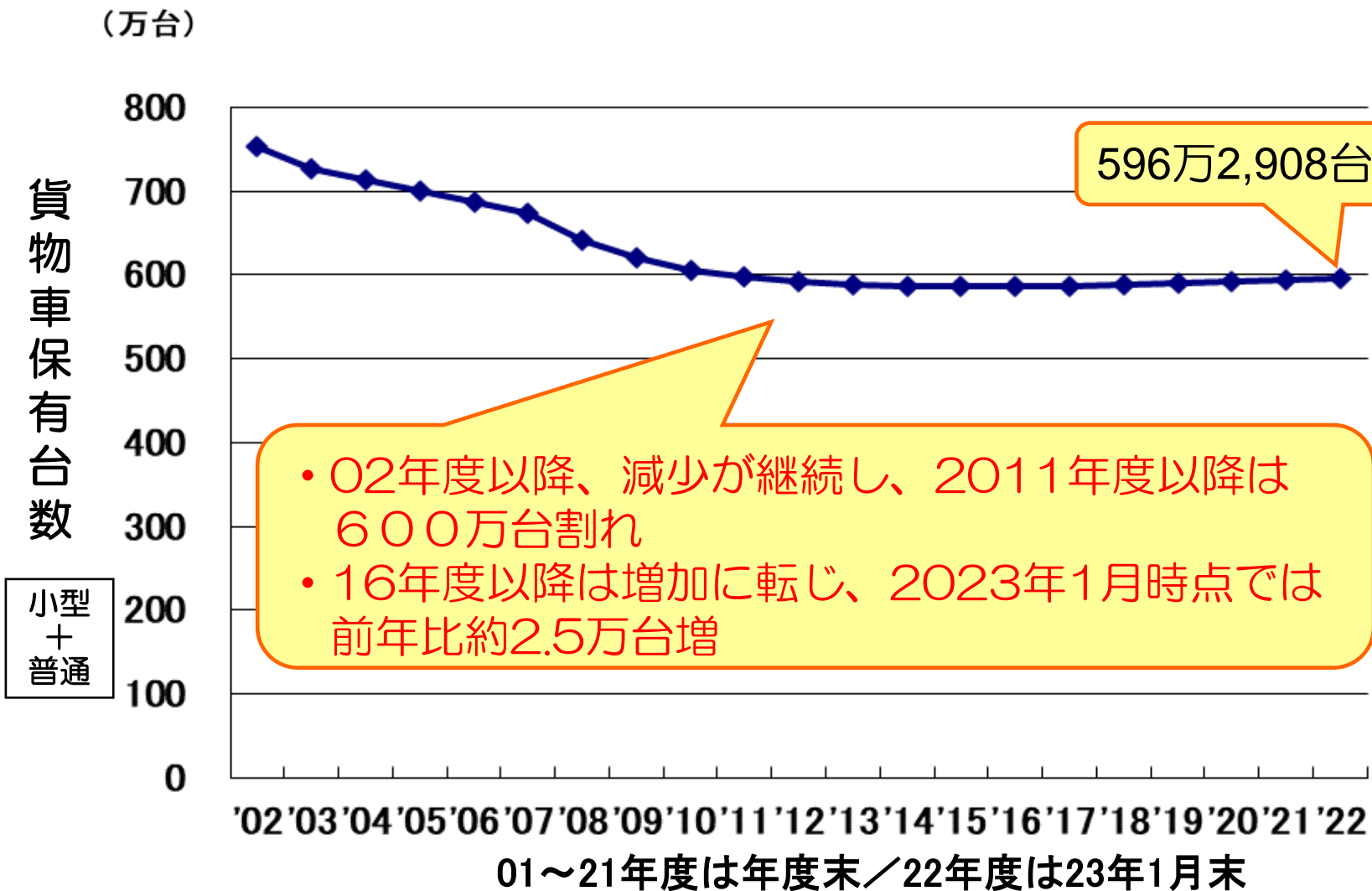
②予測：ESPフォーキャスト調査（日本経済研究センター）

日本の実質GDP成長率の予測（民間予測機関の平均値2023年5月調査結果）

# 1. 取巻く環境変化

## 1-2 市場動向

### ② 代替母数の増加が継続

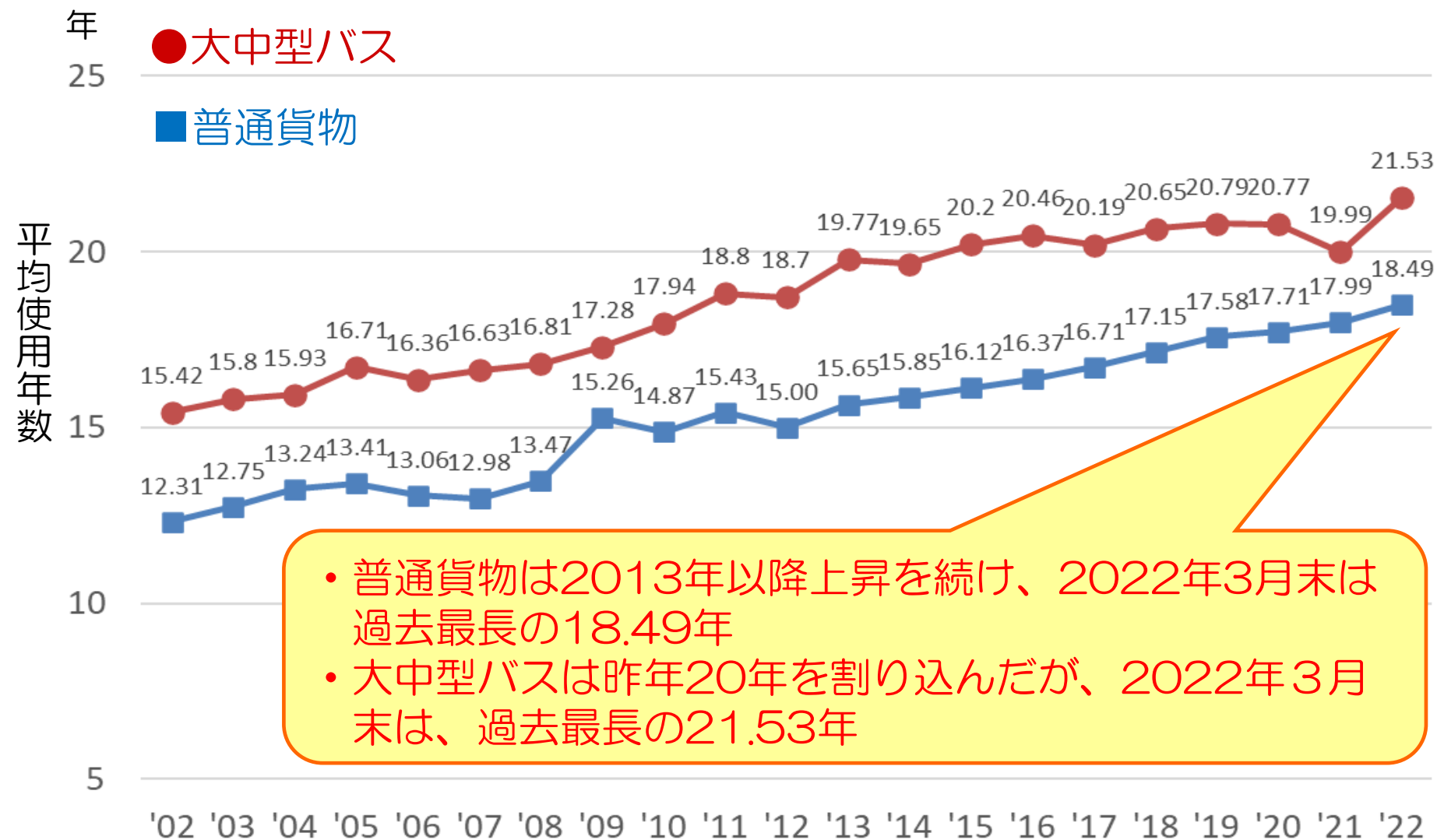


出所：自動車検査登録情報協会（自検協）

# 1. 取巻く環境変化

## 1-2 市場動向

### ③ 普通貨物の使用年数の伸び続く



- 普通貨物は2013年以降上昇を続け、2022年3月末は過去最長の18.49年
- 大中小型バスは昨年20年を割り込んだが、2022年3月末は、過去最長の21.53年

(各年3月末時点)

出所：(財)自動車検査登録情報協会

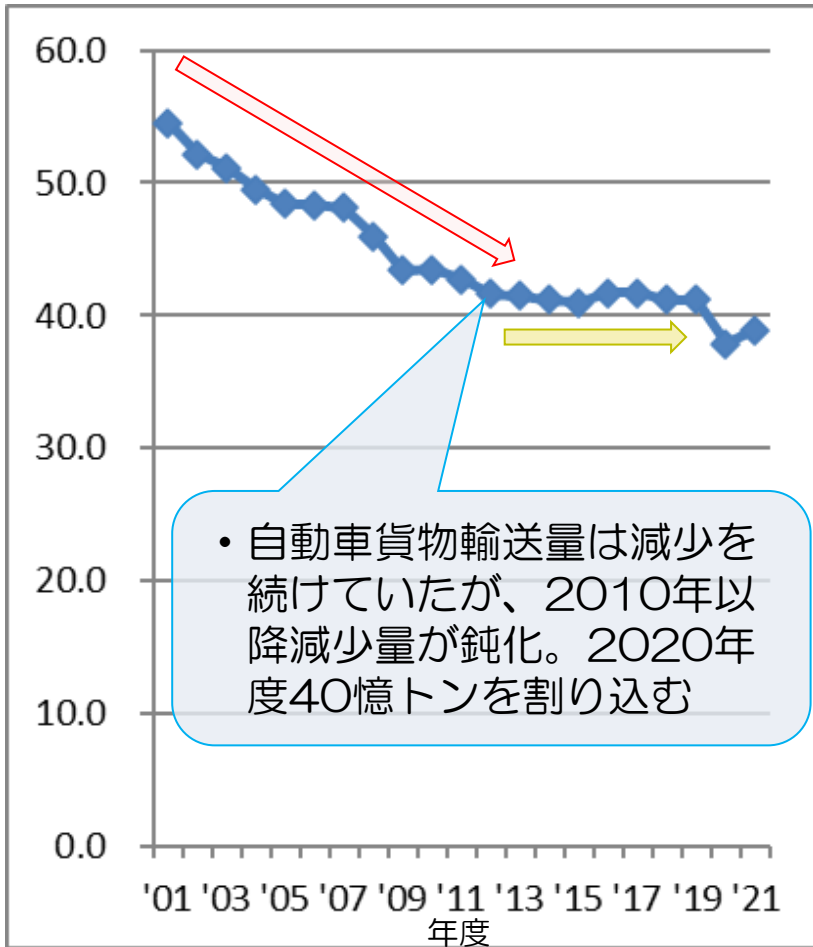
# 1. 取巻く環境変化

## 1-2 市場動向

### ④ 貨物輸送量は漸減

#### <自動車貨物輸送量推移>

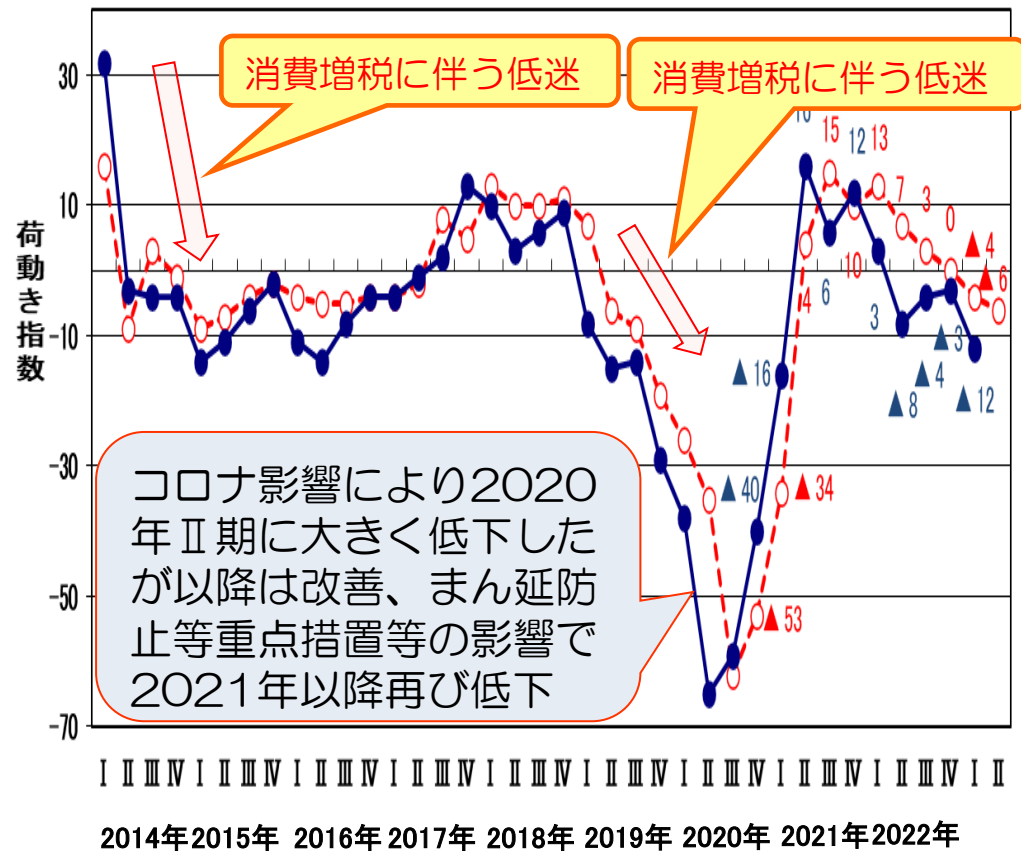
億トン



出所：国土交通省

#### <貨物輸送量の見通しと実績>

-○-見通し    ●実績



荷動き指数＝増加の割合－減少の割合

出所：日通総研短観

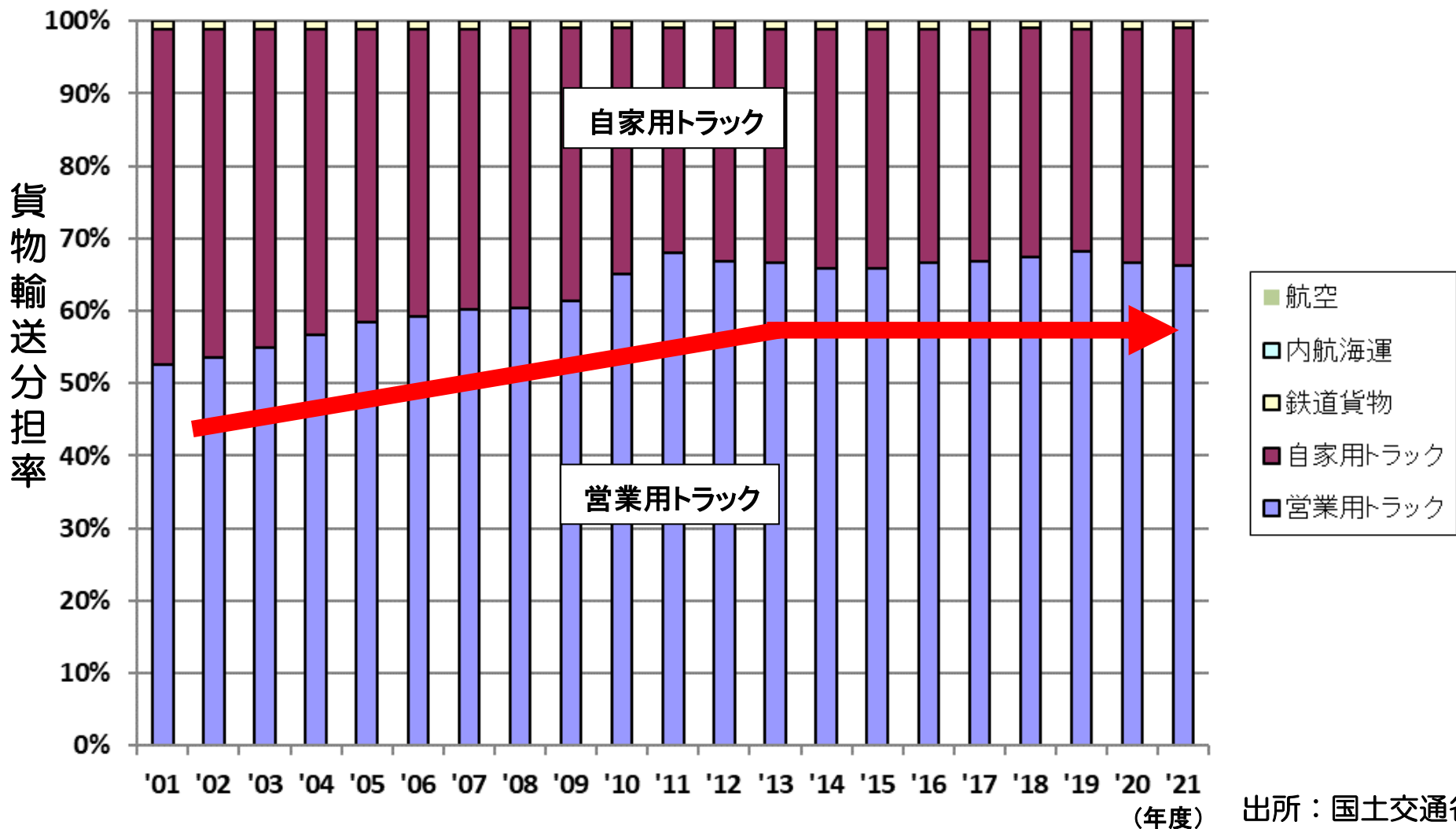


# 1. 取巻く環境

## 1-2 市場動向

### ⑤ 輸送分担率（輸送トン数）

- トラックの分担率は99%で推移。営業用・個人用比率は約7：3



# 1. 取巻く環境

## 1-2 市場動向

### ⑥ 中長期的には15万台/年程度で推移

- 保有は下げ止まり、600万台前後で推移の見込み
- 2003年から2007年の5年間（安定期）の平均代替は保有の約2.6%

◇新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、上記を前提に生産台数は増減を繰り返すものの、中長期的には  
**15万台/年程度で推移**すると見込まれる

